



## 2026年7月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年12月12日

上場会社名 株式会社アルチザネットワークス 上場取引所 東  
コード番号 6778 URL <https://www.artiza.co.jp/>  
代表者 （役職名）代表取締役社長執行役員 （氏名）床次 直之  
問合せ先責任者 （役職名）取締役執行役員 管理本部長 （氏名）永井 英樹 TEL 042-529-3494  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

### 1. 2026年7月期第1四半期の連結業績（2025年8月1日～2025年10月31日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年7月期第1四半期	315	3.2	△233	—	△184	—	△150	—
2025年7月期第1四半期	306	△64.8	△239	—	△202	—	△204	—

（注）包括利益 2026年7月期第1四半期 17百万円（－％） 2025年7月期第1四半期 △233百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年7月期第1四半期	△17.18	—
2025年7月期第1四半期	△22.38	—

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2026年7月期第1四半期	8,132	6,402	78.7	729.21
2025年7月期	8,399	6,560	78.1	747.25

（参考）自己資本 2026年7月期第1四半期 6,402百万円 2025年7月期 6,560百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年7月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2026年7月期	—				
2026年7月期（予想）		0.00	—	20.00	20.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2026年7月期の連結業績予想（2025年8月1日～2026年7月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	3,030	13.0	221	91.2	353	43.2	197	48.6	22.52

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年7月期1Q	9,562,000株	2025年7月期	9,562,000株
② 期末自己株式数	2026年7月期1Q	782,470株	2025年7月期	782,470株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年7月期1Q	8,779,530株	2025年7月期1Q	9,130,930株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### （1）当四半期の経営成績の概況

国内環境は、雇用・所得環境の緩やかな改善やインバウンド需要の増加が引き続き景気を下支えし、日本経済は緩やかな回復基調にあるものの、2025年上半期にはコスト上昇や個人消費の停滞を背景に、実質GDPが一時的に低成長またはマイナス成長となるなど、不確実性が高まっています。また、いまだに燦の中東情勢の緊迫化やウクライナ情勢の長期化など不安定な国際情勢による地政学リスクの影響に加え、主要国間の経済安全保障を巡る対立と保護主義的な政策が加速する中、特に米国の貿易・関税政策が世界経済に与える「関税ショック」という新たな懸念が依然として大きく浮かび上がっています。これは、サプライチェーンの再編やインフレ圧力の増大を通じて、グローバルな景気減速リスクを高める要因となっています。

このような状況のなか、移動体通信分野では、世界各国で第5世代移動通信方式（5G）の商用サービスが開始され、移動体通信の高速化・大容量化、サービス品質の向上に向けての研究開発及び設備投資が継続し、国内においても2020年3月から5Gの商用サービスが開始され、契約数の順調な拡大に伴い基地局数も増加、5Gサービスの拡大と更なる進化に向けた研究開発及び設備投資が継続的に行われておりました。国内の5G契約数は1億件を突破しており、5Gが広く浸透したことを示しています。しかし、ユーザーからの最初の期待とは異なり、5Gはコンシューマー向け市場で、爆発的な新たな収益源となるような「キラーサービス」を未だ生み出せておらず、初期に提唱されたマルチアングル視聴、高精細映像伝送、AR/VR体験といったサービスは、技術的には魅力的でしたが、消費者の日常的な利用習慣を大きく変えるには至らず、限定的な利用にとどまっています。

今後は、自動車を始めとする様々な分野での5G活用に向けた研究開発や、非地上系ネットワーク（NonTerrestrial Network）衛星などを用いた通信サービスが相次いで始まっており、通信事業者におきましては、固定網・移動網の融合による高品質なネットワークの実現などに向けた取り組みが進み、クラウドサービスや5Gサービスの拡大に加え、AI、量子コンピューティングなどの技術が急速に進展しています。ネットワークとAI、量子コンピューティングの融合が、ネットワーク自体をコストセンターから新たな収益源へと転換させる可能性を秘めています。

一方で、高度化するサイバー攻撃に対する情報セキュリティ強化や、環境保護への貢献も求められています。また、モバイルネットワークの最適化、ネットワークによる消費電力の削減など、AIを活用した通信プラットフォームの創出を目指す「AI-RANアライアンス」が設立されるなど、今後の展開が注目されています。これらの技術や新サービスの導入に伴い、研究開発投資や設備投資の需要が引き続き見込まれる一方で、通信事業者間の加入者獲得競争等によるサービスの低価格傾向は継続しており、2025年度以降も各社の設備投資額の減少傾向は続くことが予想されますが、通信業界全体の投資意欲に関しましては6GやNTN、AI基盤への戦略的な投資の状況など国内外の政治経済の状況を見極めつつ、選別的な姿勢が継続されるものと予想されます。

このような状況の中、当社グループでは、主に以下の営業、マーケティング及び研究開発活動を行いました。

- （i）5Gに対応する製品の開発、販売、保守並びにテストサービスの受託
- （ii）4Gに対応する製品の保守及びテストサービスの受託
- （iii）欧州、北米、韓国、インド等の海外市場における5G対応製品の市場開拓及び販売
- （iv）次世代ネットワーク及びネットワーク・セキュリティ等に対応した製品開発及び商材開拓並びに販売
- （v）ローカル5G等の通信分野における新事業に向けたマーケティング活動等

上記の結果、当第1四半期連結累計期間におけるセグメント別の経営成績は以下のとおりとなりました。

（物販セグメント）63,055千円（前年同期比150.6%増）

当セグメントの売上高につきましては、主力製品であるDuoSIM-5Gの販売に伴い、前年同期を上回りました。

セグメント損益につきましては、279,000千円の営業損失（前年同期は237,677千円の営業損失）となりました。人件費等費用の増加により、営業損失が前年同期より拡大しました。

（サービスセグメント）252,728千円（前年同期比10.0%減）

当セグメントの売上高につきましては、DuoSim-5Gのレンタルや保守サービスに伴う売上高が増加しましたが、評価受託業務の受注がなかったことなどにより、前年同期比では10.0%の減少となりました。

セグメント損益につきましては、人件費等費用の減少により、45,783千円の営業利益（前年同期は1,649千円の営業損失）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におきましては、売上高315,783千円（前年同期比3.2%増）、営業損失233,217千円（前年同期は239,326千円の営業損失）、経常損失184,581千円（前年同期は202,940千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失150,805千円（前年同期は204,382千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は3,476,998千円であり、前連結会計年度末に比べ458,707千円減少いたしました。現金及び預金が114,701千円、売掛金及び契約資産が369,110千円減少したことが主な要因であります。

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は4,655,772千円であり、前連結会計年度末に比べ191,734千円増加いたしました。投資有価証券が190,282千円増加したことが主な要因であります。

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は1,526,183千円であり、前連結会計年度末に比べ73,045千円減少いたしました。買掛金が77,108千円減少したことが主な要因であります。

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は204,502千円であり、前連結会計年度末に比べ35,505千円減少いたしました。長期借入金が15,300千円、社債が15,000千円減少したことが主な要因であります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は6,402,085千円であり、前連結会計年度末に比べ158,422千円減少いたしました。親会社株主に帰属する四半期純損失150,805千円を計上したこと、配当金の支払いを行ったことにより利益剰余金が326,395千円減少したことが主な要因であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年9月11日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,726,175	2,611,473
売掛金及び契約資産	811,952	442,842
商品及び製品	168,933	161,044
仕掛品	1,848	7,496
原材料及び貯蔵品	129,012	123,157
未収還付法人税等	13,704	17,259
その他	100,964	130,610
貸倒引当金	△16,886	△16,886
流動資産合計	3,935,706	3,476,998
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	492,967	484,884
機械及び装置（純額）	18,245	17,630
工具、器具及び備品（純額）	62,473	65,383
土地	32,557	32,557
有形固定資産合計	606,243	600,455
無形固定資産		
その他	1,161	1,054
無形固定資産合計	1,161	1,054
投資その他の資産		
投資有価証券	3,555,826	3,746,109
退職給付に係る資産	26,872	16,408
その他	273,934	291,745
投資その他の資産合計	3,856,633	4,054,263
固定資産合計	4,464,038	4,655,772
資産合計	8,399,744	8,132,771

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年10月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	136,442	59,333
短期借入金	1,000,000	1,000,000
1年内償還予定の社債	60,000	60,000
1年内返済予定の長期借入金	75,118	61,200
未払法人税等	22,852	10,308
賞与引当金	81,319	125,559
その他	223,496	209,781
流動負債合計	1,599,228	1,526,183
固定負債		
社債	105,000	90,000
長期借入金	54,000	38,700
役員退職慰労引当金	2,700	3,100
退職給付に係る負債	23,538	19,900
資産除去債務	29,279	29,279
その他	25,490	23,523
固定負債合計	240,007	204,502
負債合計	1,839,235	1,730,685
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,359,350	1,359,350
資本剰余金	3,128,149	3,128,149
利益剰余金	2,690,028	2,363,633
自己株式	△433,598	△433,598
株主資本合計	6,743,929	6,417,534
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△182,833	△14,860
為替換算調整勘定	△587	△587
その他の包括利益累計額合計	△183,421	△15,448
純資産合計	6,560,508	6,402,085
負債純資産合計	8,399,744	8,132,771

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年8月1日 至 2024年10月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年8月1日 至 2025年10月31日）
売上高	306,011	315,783
売上原価	177,993	171,489
売上総利益	128,018	144,293
販売費及び一般管理費	367,344	377,510
営業損失（△）	△239,326	△233,217
営業外収益		
受取利息及び配当金	38,491	46,586
為替差益	50	4,255
その他	920	1,125
営業外収益合計	39,461	51,968
営業外費用		
支払利息	2,542	3,150
その他	533	181
営業外費用合計	3,076	3,332
経常損失（△）	△202,940	△184,581
税金等調整前四半期純損失（△）	△202,940	△184,581
法人税、住民税及び事業税	11,522	4,863
法人税等調整額	△10,080	△38,639
法人税等合計	1,441	△33,776
四半期純損失（△）	△204,382	△150,805
親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△204,382	△150,805



## （四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年8月1日 至 2024年10月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年8月1日 至 2025年10月31日）
四半期純損失（△）	△204,382	△150,805
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△29,615	167,972
為替換算調整勘定	57	0
その他の包括利益合計	△29,557	167,972
四半期包括利益	△233,940	17,167
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△233,940	17,167
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間（自 2024年8月1日 至 2024年10月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント		四半期連結損益計算書 計上額（注）1
	物販	サービス	
売上高			
一時点で移転される財又は サービス	25,161	83,224	108,386
一定の期間にわたり移転される 財又はサービス	—	160,729	160,729
顧客との契約から生じる収益	25,161	243,953	269,115
その他の収益（注）2	—	36,896	36,896
外部顧客への売上高	25,161	280,849	306,011
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	25,161	280,849	306,011
セグメント損失（△）	△237,677	△1,649	△239,326

(注) 1. セグメント損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失（△）と一致しております。

2. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号 2007年3月30日）等に基づく収入等です。

## II 当第1四半期連結累計期間（自 2025年8月1日 至 2025年10月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント		四半期連結損益計算書 計上額（注）1
	物販	サービス	
売上高			
一時点で移転される財又は サービス	63,055	—	63,055
一定の期間にわたり移転される 財又はサービス	—	166,905	166,905
顧客との契約から生じる収益	63,055	166,905	229,961
その他の収益（注）2	—	85,822	85,822
外部顧客への売上高	63,055	252,728	315,783
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	63,055	252,728	315,783
セグメント損失（△）	△279,000	45,783	△233,217

(注) 1. セグメント損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失（△）と一致しております。

2. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号 2007年3月30日）等に基づく収入等です。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年8月1日 至 2024年10月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年8月1日 至 2025年10月31日）
減価償却費	24,875千円	17,355千円